

参 考 資 料 2
全 員 協 議 会
下 水 道 課
令和 5 年 6 月 5 日

葉山浄化センター等整備・運営事業

事業者選定結果報告

令和5年3月

葉山浄化センター等整備・運営事業 事業者選定委員会

葉山町は下水道事業において、町民に対して低廉かつ良好なサービスの提供を確保するため、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づく調達手続を参考に実施するDB（DesignBuild）＋包括的民間委託方式として、葉山浄化センター等整備・運営事業を実施する計画である。

本事業の実施により、民間事業者の技術的能力及び運営能力を活用し、効率的かつ効果的な事業を実施し、事業の更なる効率化及びコスト縮減の実現が期待される。

葉山浄化センター等整備・運営事業 事業者選定委員会は、事業者の選定にあたり、客観的な審査を行うことを目的とし、葉山町下水道事業公募型プロポーザル方式事業者選定委員会規則に基づいて設置されたものである。各分野の専門家が集まって6回にわたる慎重な審議を行い、優先交渉権者選定基準（令和4年10月7日公表）に基づき、提案内容の審査を実施し、優先交渉権者及び次点交渉権者を選定したので、審査結果を報告する。

葉山浄化センター等整備・運営事業 事業者選定委員会
委員長 加藤 裕之

1 事業者選定委員会の構成

事業者選定委員会は、以下の5名により構成されている。

委員長	東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻・下水道システムイノベーション研究室 特任准教授 加藤 裕之
委員	地方共同法人日本下水道事業団 ソリューション推進部 部長 丸山 徳義
委員	公益社団法人日本下水道協会 技術部技術課 技術主査 島崎 純雄
委員	葉山町環境部 部長 高梨 敦
委員	葉山町環境部下水道課 課長 藁科 義和

2 事業内容及び事業期間

■事業内容（設計建設業務）

葉山浄化センター：水処理第4系列設備増設、監視制御更新、圧送管更新

葉山中継ポンプ場：3号汚水ポンプ設備増設、遠方監視設備更新、吐出管増設

■事業内容（維持管理業務）

葉山浄化センター（し尿等下水道投入施設含む）、葉山中継ポンプ場、マンホールポンプ
32箇所の維持管理業務

■事業期間

設計建設業務：約2年間（契約締結後～令和7年7月31日）

維持管理業務：3年8ヵ月（令和5年8月1日～令和9年3月31日）

項目	令和5年度												令和6年度		令和7年度												令和8年度		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	3月	
基本契約等締結	★																												
設計建設																													
維持管理 引継期間																													
維持管理 (既設施設)																													
維持管理 (増設・更新設備)																													

3 事業者選定委員会の開催経緯

項目	開催日	開催方法	議題
第1回	令和4年7月8日	対面+Web	(1) 委員長、副委員長の互選 (2) 本事業の概要確認 (3) 実施方針(案)、要求水準書(案)について 【7月11日実施方針(案)、要求水準書(案)を公表、その後、現場見学会の実施、実施方針(案)・要求水準書(案)の質問受付】
第2回	令和4年8月8日	Web	(1) 実施方針(案)、要求水準書(案)について (2) 質問事項への回答について (3) 現場見学会参加グループについて 【8月12日受付けた質問への回答を公表、9月5日競争的対話を実施】
第3回	令和4年9月16日	Web	(1) 競争的対話の結果について (2) 事業者選定基準について 【競争的対話の結果を受けて、実施方針(案)、要求水準書(案)の擦合せや第2回現地見学会を実施】
第4回	令和4年10月4日	対面	(1) 事業者選定基準について (2) 公表資料(実施方針、要求水準書、募集要項、提案書作成要領(様式集含む)、事業者選定基準、契約書(案))について 【10月7日に競争的対話の議事録、実施方針等公表、12月2日参加表明書書等提出受付】
第5回	令和4年12月8日	対面	(1) 参加表明書及び応募資格審査について 【参加表明があった各グループの基礎情報、分野別参加資格の解析結果確認】
第6回	令和5年3月8日	対面	(1) プレゼンテーション及びヒアリング

4 応募者の名称

応募者の名称は次のとおりである。ただし、客観性及び公平性を確保するため、応募者が特定できないよう名称を伏して審査を実施した。

Cグループ

代表企業	共和化工株式会社
構成員1	株式会社正興電機製作所
構成員2	共和メンテナンス株式会社
構成員3	ミザック株式会社

Dグループ

代表企業	住友重機械エンバイロメント株式会社
構成員1	メタウォーター株式会社
構成員2	株式会社不二テクノ

5 総合審査の結果

公表した事業者選定基準に則り評価を行った。

(1) 提案価格の評価【配点(10点)×(最低の提案価格÷提案価格)】

(税抜)

項目	提案上限価格	Cグループ	Dグループ
設計建設業務	1,582,000,000円	1,581,300,000円	1,423,000,000円
維持管理業務	857,000,000円	856,700,000円	835,000,000円
合計	2,439,000,000円	2,438,000,000円	2,258,000,000円
評価点	-	9.3点	10点

(2) 各グループの得点

評価項目(大項目/中項目)	配点	Cグループ	Dグループ
1. 技術評価点	90	53.9	77.6
1-1 事業全体に関する事項	22	13.6	19.3
1-2 設計建設に関する事項	36	22.1	31.9
1-3 維持管理に関する事項	32	18.2	26.4
2. 価格評価点	10	9.3	10
2-1 費用に関する評価	10	9.3	10
3. 総合評価点(1+2)	100	63.2	87.6

(3) 優先交渉権者の決定

事業者選定委員会は、総合審査によって決定した得点をもとに、優先提案者を優先交渉権者として、次点提案者を次点交渉権者として選定した。

優先交渉権者	Dグループ 代表企業 住友重機械エンバイロメント株式会社 構成員1 メタウォーター株式会社 構成員2 株式会社不二テクノ
次点交渉権者	Cグループ 代表企業 共和化工株式会社 構成員1 株式会社正興電機製作所 構成員2 共和メンテナンス株式会社 構成員3 ミザック株式会社

6 総評

本事業の公募には以下の2グループからの応募があり、

事業者選定委員会では、応募者が提出した提案書の評価に加え、プレゼンテーションによる提案内容の確認を踏まえて、総合的に審査を行った。

Cグループからは、「葉山町下水道システムの安心安全と循環型社会の形成やSDGs達成に向けた付加価値の最大化を追求」を提案コンセプトのもと、「省エネルギーで処理可能な施設構築」、「有効資源の地産地消による資源循環型社会」という観点からのアプローチによって課題解決の方策が示されていた。

また、Dグループからは、「『良好な水環境を未来の世代に引き継ぐ』その『志』と共に歩んでいきます」を提案コンセプトのもと、「安心」、「効率」、「持続」という観点からのアプローチによって具体的に課題解決の方策が示されていた。

両グループとも要求水準を超える提案がなされていた。特にDグループからの提案は、以下の4点において具体性に富む優れた提案であるとともに、立案における根拠を精緻に積み上げ作成されたものであることがうかがえた。

- ① 既存のシステムを活かした実現性の高い提案
- ② 他自治体の下水道事業への導入実績が豊富で信頼性が高い提案
- ③ 町民への積極的な広報活動に関する提案
- ④ 提案上限価格に対し約2億円のコスト低減

本事業の公募プロセスに参加し、提案をまとめた両グループのその熱意に大いなる敬意を払うものである。

本事業における優先交渉権者が提案内容を実行するに当たっては、葉山町環境部下水道課及び地域の関係者と緊密な協力関係を構築することが肝要である。

本事業の運営が適切かつ効率的に実施されるとともに、要求水準記載内容、事業提案書記載内容、事業提案プレゼンテーション及びヒアリング等で示した内容を確実に履行することはもちろん、町民ニーズを取り入れた質の高い公共サービスの提供が求められる。

優先交渉権者が、財務の健全性確保と事業の円滑な運営の両立が強く求められていることを肝に銘じ、優れた経営ノウハウと事業運営能力を如何なく発揮されることを期待している。

また、葉山町は下水道事業に対し、施設の老朽化による今後の改築事業量・事業費の増大や事業執行体制不足という課題がある。その課題解決の一環として、民間事業者のノウハウや創意工夫を活用した事業の効率化を図っている。本事業をモデルとし、同様の課題を抱える中小規模の町村の下水道事業運営の課題解決の一端となることを願って総評とする。